

## 4 基本計画

政策1 ～安全で快適な生活を支えるまちづくり～

### 施策1-1 安全な水道水の安定供給

#### ●施策の現状と課題

- 本市の水道水の水源は、福岡県南広域水道企業団※1（筑後川）からの受水（約50%）と、地下水のくみ上げによる自己水源（約50%）となっています。
- 本管整備は、全市域でおおむね終了し、給水人口は少しずつ増加していますが、本管が通っていない地域からの給水要望、地下水の水質悪化による給水要望に対しては、受益者負担が発生することなどから、新規加入はあまり進んでいない状況です。
- 今後は、効率的な配水管整備と新規加入促進をめざし、本管拡張工事ではなく管網整備※2 で対応していきますが、安全で安定した水道水の供給のため、経営改善に努めるとともに、市民が水資源の大切さを理解する取り組みが必要です。

#### ●施策のねらい（めざす姿）

安価で安全な水道水を安定供給することで、多くの市民が利用している。

#### ●施策の成果指標（事業に取り組んだ成果をはかるための指標）

##### 1. 上水道普及率

現状値 (平成17年度)	前期目標値 (平成23年度)
73.5%	75.0%

給水人口（上水道を利用している人口）を給水区域内人口で割って算出した数値です。

##### （成果指標の方向性）

おおむね全市域の本管整備は終了したものの、地下水の利用などから未接続家庭も少ない状況です。今後は、管網整備事業と併せて普及率拡大に努めます。

#### ●基本事業（施策の成果をあげる手段）

基本事業	ねらい (めざす姿)	担い手	成果指標 (事業に取り組んだ成果をはかるための指標)
1-1-1 管網の整備	管網が整備され、水圧不足の解消や、水量の確保ができています。また新規給水加入が増えています。	行政	・新規加入の戸数（戸）
1-1-2 経営の安定化	効率的な経営をすることで、浄水・給水コストが下がっている。	行政	・有収率※3（%） ・給水原価（円/m <sup>3</sup> ）
1-1-3 浄水・配水施設の維持管理	施設が適切に維持管理され、故障や事故を防ぎ安定した給水がされている。	行政	・浄水・配水施設維持管理上のトラブル数（件） ・水質基準適合率（%）
1-1-4 水資源の有効利用	市民や事業所などが水資源の大切さを理解し、有効に水が使われている。	市民 事業者 行政	・節水活動をしている市民の割合（%） ・一人1日平均給水量（m <sup>3</sup> ）

#### 用語解説

- ※1 福岡県南広域水道企業団 昭和46年、筑後地域の市や町などが協力して設立したもので、筑後川から取水し浄水場で安全でおいしい水道水にして市や町などへ送っています。
- ※2 管網整備 水圧・水質の安全確保及び断水区域の縮小などのために、行き止まりとなっている配水管と配水管を接続することです。
- ※3 有収率 給水量全体に占める料金徴収の基礎となる使用水量の割合をいいます。この割合が高いほど効率的で望ましい状態といえます。



## 施策1-2 下排水処理施設などの整備

### ●施策の現状と課題

- 生活雑排水が主な要因で、市内河川の水質悪化が進んでいます。特に、倉目川の欠塚橋下流（北部）、花宗川の下流（中心部）での水質悪化が顕著です。また、市内クリークにおいても、水の循環がなく、水質が悪化している状況です。
- 下水道、合併浄化槽以外のし尿処理は、くみ取り及び単独浄化槽による処理世帯が約7割を占め、福岡県平均の約4割を大きく上回っています。
- 矢部川流域の6市町で流域下水道※1による管整備を平成11年度より実施し、平成18年度から一部供用を開始しています。  
※全体計画：筑後市内整備面積1,334ha 筑後市分総事業費368億円
- 下水道事業は、多額の整備費及び維持管理費を要するため、供用開始地域の水洗化促進に努めるとともに、コスト縮減などによる効率的な下水道整備・維持管理に努める必要があります。また、地域の実情に即した汚水処理構想の検討も必要となっています。

### ●施策のねらい（めざす姿）

公共用水域の水質が改善され、快適で衛生的な生活環境になっている。

### ●施策の成果指標（事業に取り組んだ成果をはかるための指標）

1. 河川水質の環境基準適合度（mg/l）※水系別での過去3年間平均BOD値※2

	現状値 (平成17年度)		前期目標値 (平成23年度)		BOD値	生物の状況
	5～9月	10～4月	5～9月	10～4月		
山ノ井川	5～9月	1.8	1.6	2.0	5以下の場合	魚がすめる水質
	10～4月	2.4	2.0	2.0		
花宗川	5～9月	1.4	1.2	3.0	5を超え10以下の場合	一部の魚がすめる水質
	10～4月	4.1	3.0	3.0		
倉目川	5～9月	3.5	3.0	10.0	10を超える場合	魚がすめない水質
	10～4月	14.4	10.0	10.0		

### （成果指標の方向性）

市内河川の水質はやや悪化の傾向にあり、一部河川では深刻な水質悪化傾向にあります。

生活雑排水・事業所排水の増加が原因と思われます。自然環境保全、快適な生活環境のため、水質の悪化度合いを考慮に入れた整備計画を検討し、家庭や事業所排水の下水道への接続を促進し、河川の水質浄化を積極的に推進します。

### ●基本事業（施策の成果をあげる手段）

基本事業	ねらい (めざす姿)	担い手	成果指標 (事業に取り組んだ成果をはかるための指標)
1-2-1 公共下水道整備 推進	下水道施設が整備され、生活雑排水や事業所排水が適切に処理される環境が整っている。	行政	・下水道整備進捗率（％） ・下水道普及率（％）
1-2-2 汚水処理施設の 維持管理	下水道施設が適切に管理され、汚水処理機能が維持されている。	行政	・下水道施設の維持管理上の トラブル件数（件） ・放流水の水質（BOD値）
1-2-3 水洗化の普及 促進	下水道への接続が促進され、家庭や事業所排水の水質が改善し放流されている。	市民 事業者 行政	・水洗化率（％）

### 用語解説

※1 **流域下水道** 市町村の枠を超え、二つ以上の市町村の区域における下水を、広域的かつ効率的に処理するものです。

※2 **BOD値** 水の汚濁指標として用いられ、工場排水などの規制項目の一つとして重要なものです。微生物が水中の有機物を分解するときに消費する酸素量として表され、この値が大きいほど、水の汚れの度合いがひどいことになります。



## 施策1-3 消防・救急体制の整備

### ●施策の現状と課題

- 火災発生件数は平成17年22件で、救急出動件数が平成17年1,629件となっています。火災発生件数の経年変化はあまりありませんが、救急出動件数は軽症での出動などが要因で、近年3～4%の伸び率で増加しています。
- 救急活動においては、現場において処置を行った後に搬送するなど、活動内容が変化しつつあります。そのため、救急救命士<sup>※1</sup>の養成や研修・訓練を充実する必要があります。
- 新しい消防力の整備指針<sup>※2</sup>が、平成18年4月に施行されました。指針施行に伴って、消防・救急体制の強化、火災予防に関する技術資格制度（予防技術資格者）の配置などの必要があります。また、消火や救命は初期活動が重要な要素であるため、地域における初期消火や救命に関する市民の能力向上も重要です。

### ●施策のねらい（めざす姿）

生命・身体・財産を守り、被害を最小限にする。また、十分な体制づくりにより市民が安心感を持っている。

### ●施策の成果指標（事業に取り組んだ成果をはかるための指標）

#### 1. 火災発生件数

現状値 (平成17年)	前期目標値 (平成23年)
22件	—

火災統計による市内での火災発生件数です。

#### 2. 火災による損害額

現状値 (平成17年)	前期目標値 (平成23年)
9,752千円	—

火災統計による市内での火災による損害額です。

#### 3. 消防・救急体制が整っていると思う市民の割合

現状値 (平成17年度)	前期目標値 (平成23年度)
73.9%	

市民アンケートで筑後市の消防や救急体制について「満足」「どちらかといえば満足」「ふつう」と回答した人の割合です。

### (成果指標の方向性)

消防体制への市民の評価はおおむね良好といえますが、今後はコミュニティの希薄化などからくる地域における消防力の低下が懸念されます。そのため、消防団を中心とする地域の消防力を高め、全体的な消防力の維持・向上に努めます。

### ●基本事業（施策の成果をあげる手段）

基本事業	ねらい (めざす姿)	担い手	成果指標 (事業に取り組んだ成果をはかるための指標)
1-3-1 防火対象物などの立入検査指導・違反処理の徹底	検査、指導などの徹底により、消防法令に違反している防火対象物が減少している。	市民事業者行政	・消防法違反の是正率(%)
1-3-2 防火意識の高揚	啓発などの充実により、火災の発生が低減され、火災発生時は初期消火活動ができる。	市民事業者行政	・1万人あたりの出火率(件/1万人) ・初期消火率(%) ・消火訓練の受講者数(人)
1-3-3 危険物施設などの安全確保、自主保安体制の推進	事業所などの危険物施設の安全確保などを促すことで、火災、漏えい事故の発生が低減している。	市民事業者行政	・火災、漏えい事故の発生件数(許可施設)(件) ・火災、漏えい事故の発生件数(許可施設以外)(件)
1-3-4 救急救命体制の充実	・市民の救急救命方法習得を促すことで、事故時に適切な応急処置がとれる。 ・救急救命士が一定以上配置され、救命士の資質が向上している。	市民事業者行政	・心肺停止患者へのそ生術の実施率(%) ・救急法の受講者数(人) ・実働救急救命士数(人)
1-3-5 消防施設の機能確保	消防車両などの消防施設を適切に管理することで、火災などの際に迅速で効果的な活動ができる。	行政	・消防車両などの出動時の不具合件数(件)
1-3-6 消防水利の充足	消火栓や防火水槽が適正に設置され、迅速な消火活動を行える。	市民行政	・水利基準充足率(%)

### 用語解説

※1 **救急救命士** 平成3年に「救急救命士法」が制定されました。救急患者に対して医療機関収容前に現場などで高度救命処置を行う資格を有する救急隊員のことです。

※2 **消防力の整備指針** 市町村が火災の予防、警戒、鎮圧や救急業務並びに人命の救助などを確実に遂行し、消防組織法に定める消防責任を十分に果たしていくために国（消防庁）が定める施設及び人員の基準となるものです。市町村はこの指針を目標として、地域の実情に即した整備に取り組みます。

## 施策1-4 秩序ある市域の整備

### ●施策の現状と課題

- 市内各地で、ミニ開発など無秩序な宅地開発が進んでおり、離農者増加や土地価格の割安感などから農用地の宅地化（毎年2～3ha程度）も進んでいます。また、郊外型店舗が増加した一方で、中心市街地（羽犬塚駅周辺）の商店街が衰退したことによる市中心部の空洞化や、市南西部の人口流出などによる市内地域間の較差が生じています。秩序ある開発誘導、中心市街地の活性化などが課題です。
- 市民の森公園の完成や筑後広域公園の順次開園など、市内の公園整備は進んでいます。また、道路や下水道、排水路などの生活基盤施設は、これまで計画的に整備をしてきましたが、まだ十分とはいえない状況にあります。一方で、九州新幹線船小屋駅（仮称）設置（平成22年度末完成予定）や、国道442号バイパスなどの整備が進んでおり、それらに伴う周辺整備が課題となっています。
- コンパクトなまちづくりによる中心市街地のにぎわい創出のため、大型店の郊外立地規制などを盛り込んだまちづくり三法（都市計画法・中心市街地活性化法・大規模小売店舗立地法）が改正されました。このことへの対応も考慮に入れた、都市計画マスタープラン※1 策定が課題です。

### ●施策のねらい（めざす姿）

乱開発されず、秩序ある市域が構成され、市全体が調和のとれた発展をしている。

### ●施策の成果指標（事業に取り組んだ成果をはかるための指標）

1. 住宅、商業、農地、工場、公園などが計画的に開発・配置されている（乱開発されていない）と思う市民の割合

現状値 （平成17年度）	前期目標値 （平成23年度）
44.4%	

市民アンケートで「筑後市は住宅、商業、農地、工場、公園などが計画的に開発・配置された土地利用がされている（乱開発されていない）と思いますか」という質問に「されている」「されている部分が多い」と回答した人の割合です。

#### （成果指標の方向性）

都市計画道路※2 の未整備、都市計画用途地域※3 外の宅地・事業用地開発などから、この施策に対する市民の評価はやや低くなっています。今後、都市計画道路・用途地域、農用地区域※4 の見直しを行います。計画による整備・誘導には限界があるものの、乱開発を極力抑えることにより、成果の維持・向上に努めます。

### ●基本事業（施策の成果をあげる手段）

基本事業	ねらい （めざす姿）	担い手	成果指標 （事業に取り組んだ成果をはかるための指標）
1-4-1 計画的な土地利用と市街地整備の推進	・土地用途を環境変化にあわせ変更し、用途にあった開発がされている。 ・農業振興地域内の無秩序な宅地開発を規制し、優良農地が保全されている。	市民事業者 行政	・全建築申請中に占める都市計画用途地域内の申請割合（%） ・都市計画用途地域内農地率（%） ・優良農地率（%）
1-4-2 公園の整備・維持管理	・公園の効果的整備により、市民が安らげる公園施設が充足している。 ・市民協働での維持管理が充実することで、公園が安全に利用できる。	市民 行政	・市民1人あたり公園面積（㎡/人） ・公園の量・設備に満足している市民の割合（%） ・市民協働で管理されている公園数(カ所)
1-4-3 バリアフリー※5の推進	公共施設などのバリアフリー化に努め、高齢者や身体障害者などにとって生活しやすいまちになっている。	市民事業者 行政	・歩道の点字ブロック設置総延長（km） ・公共施設バリアフリー化率（%）

#### 用語解説

- ※1 **都市計画マスタープラン** 市の将来像や整備方針を明確にし、行政と住民がそれらを共有しながら実現していくことを目的とした都市計画に関する最も基本的な計画です。
- ※2 **都市計画道路** 都市計画法で定められる道路、公園、下水道などの基幹的な都市施設の一つで、将来の発展を予想して決定される主要な計画道路です。
- ※3 **都市計画用途地域** 住居、商業、工業などの建築物を機能的に配置し、建築物の用途や高さなどを規制・誘導し、秩序あるまちづくりを行うための区分です。
- ※4 **農用地区域** 農業の近代化、公共投資の計画的推進など、農業の振興を図ることを目的に「農業振興地域の整備に関する法律」で定められた農業振興地域の中に定められた区域のことです。農用地区域内で開発行為をする場合は都道府県知事の許可が必要です。また、原則として宅地などへの転用は認められません。
- ※5 **バリアフリー** もともとは建築用語として登場し、建物内の段差の解消など物理的障壁の除去という意味合いが強いものの、より広く、障害のある人や高齢者などの社会参加を困難にしている社会的、制度的、心理的なすべての障壁の除去という意味でも用いられています。

## 施策1-5 公共交通の確保と駅の利便性向上

### ●施策の現状と課題

- 九州新幹線船小屋駅（仮称）建設で新たな拠点が誕生します。新たなバス路線などが検討され、市南部の利便性が飛躍的に向上すると思われま。一方、JR羽犬塚駅は、市の中心的交通結節点として依然重要ですが、新幹線開通に伴い、特急電車の廃止、快速電車の増便が予想されます。新幹線工事に伴う駅舎の改築、駅西側の開発など、更なる利便性向上を図る必要があります。また、ほかの既存2駅についても、交通結節機能を高める必要があります。
- 柳川線や船小屋大牟田線など民間バス路線の廃止が続いています。羽犬塚駅大川線、羽犬塚駅久留米駅（西牟田経由）線、羽犬塚駅矢部村線は関係市町村が赤字補てんをして維持している状況にあります。今後は、既存路線の維持に努める一方、市民によるコミュニティバスの運行の拡大などが課題です。
- 駅のバリアフリー化については、市内3駅中JR羽犬塚駅のみが取り組まれており、バリアフリー化の拡充が課題です。

### ●施策のねらい（めざす姿）

鉄道会社、バス会社などによる公共交通が確保され、市民の利便性が高まっている。

### ●施策の成果指標（事業に取り組んだ成果をはかるための指標）

#### 1. 公共交通について満足している市民の割合

現状値 (平成17年度)	前期目標値 (平成23年度)
77.0%	

市民アンケートで公共交通について「満足している」「どちらかといえば満足している」「ふつう」と回答した人の割合です。

#### (成果指標の方向性)

公共交通に対しては、市民から一定の評価が得られているといえます。今後は、九州新幹線の開通、同船小屋駅（仮称）の開設など成果向上要因がある一方、バス路線廃止などが危ぐされます。特に、市周辺部の公共交通手段が不足しており、民間・市民との連携・協働による市民生活に密着した交通手段の確保に努めます。

### ●基本事業（施策の成果をあげる手段）

基本事業	ねらい (めざす姿)	担い手	成果指標 (事業に取り組んだ成果をはかるための指標)
1-5-1 交通手段の確保	鉄道会社やバス会社などの路線や運行本数が維持され、市民の移動手段が確保されている。	事業者 行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内のバス路線数（コミュニティバス含む）に満足している市民の割合（%）</li> <li>・JR羽犬塚駅の快速・特急1日運行数（平日）（便）</li> <li>・JR羽犬塚駅の普通列車1日運行数（平日）（便）</li> <li>・JR西牟田駅の普通列車1日運行数（平日）（便）</li> <li>・JR船小屋駅の普通列車1日運行数（平日）（便）</li> </ul>
1-5-2 駅周辺機能の充実	駅や周辺施設が充実することにより、市民がスムーズに移動することができる。	事業者 行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅の利便性について満足している市民の割合（%）</li> <li>・JR羽犬塚駅1日乗降客数（人）</li> <li>・JR西牟田駅1日乗降客数（人）</li> <li>・JR船小屋駅1日乗降客数（人）</li> </ul>
1-5-3 新幹線船小屋駅（仮称）周辺の整備	新幹線駅及び駅周辺が整備されることで、市民の遠距離・高速移動手段が向上している。	事業者 行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新幹線船小屋駅（仮称）周辺の関連施設整備の進捗率（%）</li> </ul>



## 施策1-6 道路整備による利便性の向上

### ●施策の現状と課題

- 九州新幹線船小屋駅（仮称）の開設に伴うアクセス道路が計画されており、市南部の利便性は飛躍的に向上すると思われます。
- 国道442号線のバイパス整備が進行しており、一部を供用開始しています。全線開通は平成22年度予定ですが、八女IC周辺の渋滞緩和と利便性向上を図るため442号線バイパスと八女ICの結節計画を進めています。また、国道209号線については、渋滞緩和、事故防止、利便性向上のための交差点改良や歩行者、自転車道の整備などを推進していく必要があります。県道については、幅員が狭いなど安全上の問題もあり、拡幅工事などが必要です。
- 都市計画道路の内、約57%が未整備となっており、計画の見直しなどが必要となっています。
- 周辺地域の道路は、ほ場整備※1によって一定の整備ができていますが、今後は東西・南北の道路ネットワークの構築が課題です。また、集落内の道路については、必要性や緊急性を考慮した計画的な整備に加え、地元による施工推進も課題です。

### ●施策のねらい（めざす姿）

道路ネットワークの整備と適正な維持管理で、円滑な通行ができている。

### ●施策の成果指標（事業に取り組んだ成果をはかるための指標）

#### 1. 幹線道路について満足している市民の割合

現状値 (平成17年度)	前期目標値 (平成23年度)	
74.4%		市民アンケートで久留米、八女、大川などへの都市間道路について「満足している」「どちらかといえば満足している」「ふつう」と回答した人の割合です。

#### 2. 生活道路について満足している市民の割合

現状値 (平成17年度)	前期目標値 (平成23年度)	
66.8%		市民アンケートで生活道路の整備状況について「満足している」「どちらかといえば満足している」「ふつう」と回答した人の割合です。

### （成果指標の方向性）

道路整備状況については、市民からある程度の評価がされているといえます。ただし、生活に密着している道路については、様々な要望がありすべてには対応しきれない状況もあり、やや不満が多いようです。今後は、財政状況も踏まえ、重要性や緊急性に配慮した効果的かつ効率的な整備を図り、成果向上に努めます。

### ●基本事業（施策の成果をあげる手段）

基本事業	ねらい (めざす姿)	担い手	成果指標 (事業に取り組んだ成果をはかるための指標)
1-6-1 幹線道路の整備促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路のネットワーク化などにより渋滞緩和など、幹線道路の利便性が向上している。</li> <li>・歩道や分離帯の設置など安全整備が充実されることで、幹線道路での交通事故が減少している。</li> </ul>	関係団体 行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東西の朝の通勤時間の通過所要時間（四ヶ所《界橋》→長浜《八女インター入り口交差点》）（分）</li> <li>・南北の朝の通勤時間の通過所要時間（船小屋《船小屋温泉大橋北端》→一条《ヤンマー農機入口》）（分）</li> <li>・幹線道路（国道・県道）での交通人身事故件数（件）</li> </ul>
1-6-2 生活道路の整備推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活道路の効果的な整備により利便性が向上している。</li> <li>・歩道の設置などで生活道路での交通事故が減少している。</li> </ul>	市民 行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路改良件数（件）</li> <li>・生活道路（市道など）での交通人身事故件数（件）</li> </ul>
1-6-3 道路・側溝維持補修管理（道路パトロール）の強化	道路の機能を保全することで、道路の利用者が安全に通行できる。	市民 行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活道路機能に関する苦情件数（件）</li> <li>・生活道路機能の苦情・要望への対応率（%）</li> </ul>

### 用語解説

※1 **ほ場整備** 区画が小さく、水はけが悪い昔ながらの水田は大型機械が使えなかったり、作業の効率が悪かったりするため、農業経営に必要な経費も高くなります。また、水稲以外の作物をつくらうとしても難しかったりしました。ほ場整備は、こうした農業を効率よく行うことを阻害する原因を解決するために、水田を大区画に整理し、水はけをよくする排水施設や大型機械が通るための農道などを整備するものです。